

射水市金山コミュニティセンター

◆事業の目的

自然豊かな地域に住んでいても現代の子ども達はなかなか自然を体験できずにいる。ふるさとの自然を探検して、自然の大切さといつまでも豊かな自然を残したいという気持ちを育む。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月17日(日)	ホタル観察体験	射水市浄土寺地区	47名
8月7日(火)	水質観察体験	射水市内下条川周辺	20名

◆事業の様子

☆ ホタル観察体験

下条川の上流の金山コミュニティセンターと下流に位置する橋下条コミュニティセンターが連携して、自然体験活動を企画しました。まず、地元の町内会長が、ホタルが生息している農業用水の川の水が汚された話や、田んぼの稲の育成のための草刈等苦勞している問題も話され、地域の人全員でホタルを守る必要性を話されました。また、ホタルを見に来る人にもマナーを守るということの重要性を話されました。

橋下条コミュニティセンター長からホタルの生態の話を聞いた後、ホタルを持ち帰らないことを約束して、ホタルが乱舞する農業用水まで行きました。大人も子どもも、暗い中手にとったホタルの光に感動していました。

☆ 水質観察体験

ホタルの飛び交う下条川の水質を、簡易水質と水生生物調査で体験しました。水質調査は、3箇所で行いました。金山小学校近くの下条川は深いため橋の上からバケツで水を汲み、簡易水質で計測しました。2箇所目の農業用水箇所はホタルが舞う場所であり川に入ることが出来るため、石の下に生息する水生生物も調べました。結果は、ややきれいな水に生息する水生生物でした。3箇所目は源流だったので、ゲンゴロウ等のきれいな水に棲む水生生物がいて、子ども達は感動していました。また、水の透明度は、下条川や農業用水の2倍程度の違いがあったのでこれも感動しました。簡易水質観測については3箇所とも同じきれいな水の範囲でした。

水質検査が終了してから、橋下条コミュニティセンター長から下条川における魚の生態についてのお話を聞きました。



◆事業の成果と課題

ホタル観賞では、ホタルが生息するために地域の人が自然の保護をして生活していることや、観賞するときのマナーの大切さを知ることが出来ました。自然の中で見た目はあまり変わらない川の水も、上流の源流と下流では変化することが水質調査でわかりました。水質の変化を水生生物調査や透明度で知ることは分かりやすかったと思います。